



アスチカとびっくす

2017年4月1日発行 発行元 ひろしま避難者の会「アスチカ」
 〒733-0003 広島市西区三篠町2丁目15-5 tel: 082-962-8124 fax: 082-962-8125
 URL: hirosimahananshanokai-asuchika.com email: hirosima.hinan@gmail.com

2017年 アスチカ会員の現状とアンケート結果

先日、東日本大震災以来6回目の3月11日を迎えました。その時期に合わせ、会員の現状と今後の動向などを把握するための会員アンケートを今年も行い、3月9日にそこまでの集計分を公表いたしました。避難者を取り巻く状況が大きく変化するなか、東日本大震災や原発事故による広島への避難者の理解の一助となることを願い、その一部を本誌でも紹介いたします。

全公表分は、過去の分と合わせて、アスチカのホームページでご覧いただけます。

アスチカ会員数

避難元	世帯数(人数)	%
岩手県	1 (1)	0.9%
宮城県	10 (34)	8.9%
福島県	51 (156)	45.5%
関東地方	50 (144)	44.6%
計	112 (335)	

アスチカ会員の世帯状況

	世帯数	%
単身	13	11.6%
大人のみ	14	12.5%
大人+子ども世帯	85	75.9%
(うち母子世帯)	16	14.3%

会員世帯数は昨年より減少していますが、新規に入会した世帯もあり、新たに避難を開始した世帯1、以前から避難していたが入会は今年度という世帯が3、他の避難地から移動された世帯が1です。アスチカ設立当初、福島県からの避難者の割合は6割でしたが、現在は関東地方からの避難者の割合とほぼ同じになりました。退会は、避難元への帰還や転勤による転出などがありました。

アスチカ会員アンケート結果 回収数 60世帯/112世帯 (回収率 53.6%)

1. 避難の理由

(複数回答あり)

広島では、原発事故への関心を高く持っていただいております。しかし、津波と地震の影響で広島に来ている人も確実におり、広島での定住を決めている方もいます。そういう方がいることも知っていただけると嬉しいです。

	回答数	%
地震による家屋の消失・損壊	7	11.7
津波による家屋の消失・損壊	3	5.0
原発事故による強制避難	3	5.0
原発事故による健康影響(含、不安)	53	88.3
仕事がなくなった	2	3.3
精神的ストレス	18	30.0
余震への不安	17	28.3
原発事故悪化への不安	37	61.7
その他	6	10.0

2. 今後の予定

	世帯数	%
今住んでいる自治体へ定住	27	45.0
避難元ではないところへ移動	1	1.7
近いうちに避難元へ戻る	1	1.7
いずれ避難元へ戻る	1	1.7
決めていない	18	30.0
上記に当てはまらない	8	13.3
無回答	4	6.7

昨年に比べて、「決めていない」が減り、「定住」が増えました。
東日本大震災から6年経つこと、住宅支援が終了するなどの影響かと思われる。

3. 今、特に大変なこと、つらいことは？

(複数回答あり)

	回答数	%
仕事が見つからない	3	5.0
仕事にやりがいを感じない	1	1.7
生活費が足りない	16	26.7
支援が縮小していくこと	8	13.3
避難指示が解除されたこと	3	5.0
避難指示が解除されそうなこと	2	3.3
体調不良	12	20.0
忙しすぎる・自分の時間がないこと	10	16.7
親の介護	5	8.3
育児	5	8.3
子どもの教育・進路	14	23.3
家族バラバラに暮らしていること	5	8.3
避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと	19	31.7
心の余裕のなさ・精神的な不安定さ	16	26.7
家族間の意見の不一致(夫婦間、パートナーと自分)	4	6.7
家族間の意見の不一致(自分と親)	4	6.7
家族間の意見の不一致(自分と子ども)	1	1.7
避難元が復興しないこと	1	1.7
避難元の復興が望む形と違うこと	10	16.7
避難元に帰れないこと	5	8.3
今住む地域に親しい友人がいないこと	8	13.3
避難元の友人と疎遠になってしまったこと	16	26.7
震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じること	21	35.0
原発が再稼働されたこと	17	28.3
避難先の人たちと意識の差を感じる	16	26.7
特にない	4	6.7
その他	8	13.3

昨年から選択肢に入れた「原発が再稼働されたこと」は多いですが、震災や原発事故のことが風化することへの不安が1位になりました。「避難元の親・親戚・友人になかなかあえないこと」は依然多く、「生活費が足りない」「子どもの教育進路」を選ぶ人も大きく減っていません。子どもの成長とともに教育費がかさむ時期に差し掛かり、住宅支援がなくなることの影響は表れています。

4. 今後どんなことに不安があるか？

(複数回答あり)

	回答数	%
避難先の生活が安定するか	13	21.7
自分の健康が保てるか	33	55.0
家族の健康が保てるか	29	48.3
避難し続けられるか	9	15.0
公的支援がいつまで続くか	6	10.0
避難指示が解除されること	2	0.0
子どもをしっかりと育てられるか	11	18.3
子どもの教育・進路	18	30.0
家族と一緒に暮らせるか	7	11.7
夫婦の関係が悪化しないか	6	10.0
避難元の親・親族との関係、付き合い	16	26.7
避難元へ帰れるか	2	3.3
避難元へ帰らなければいけないこと	2	3.3
避難元へ帰った時に孤立しないか	0	0.0
避難元にいる親の老後・介護	20	33.3
特になし	4	6.7
その他	7	11.7

大きな傾向は昨年と変わりません。「健康への不安」、「子どもの教育・進路」、「親の老後・介護」は、依然として多いです。

後者2つは発災・避難開始時から時間が経つにつれて各家庭で問題として大きくなっています。

原発事故による避難者とその親族との間で考え方の違いがある場合は、大きな悩みになっています。

5. 自分を「避難者である」ということへの抵抗は？

6. アステカ入会の理由は？

(複数回答あり)

	回答数	%
とても抵抗がある	5	8.3
少し抵抗がある	18	30.0
あまり抵抗はない	18	30.0
全く抵抗はない	18	30.0
無回答	1	1.7

いろいろな社会問題として表れたり、「避難している」ということを不必要に言わないという状態がないよう、「避難」という選択が、東日本大震災や原発事故後の一つの選択として理解が進むことを願っています。

	回答数	%
他の避難者と知り合うため	19	31.7
避難者同士のつながり	36	60.0
アステカニュースなどが届くこと	31	51.7
ご招待、支援物資などの情報獲得	14	23.3
公的支援の情報獲得	16	26.7
さまざまな催しの情報獲得	20	33.3
避難者であることの自己確認(「自分＝避難者」であることを確かにする)	6	10.0
困った時の相談場所として	22	36.7
精神的支え	15	25.0
避難者同士の情報交換のため	18	30.0
その他	3	5.0

避難元別アンケート

【岩手県・宮城県】

7. 避難者であることで嫌な思いをしたか？

	回答数
はい	1
いいえ	2
無回答	3

【福島県】

8. 福島県から来ていることで、これまでに「放射能」に関わることで嫌がらせやいじめをうけたことはあるか？

	回答数	%
はい	0	0
いいえ	18	64.3
無回答	10	35.7

【関東圏】

9. 避難者であると周囲に伝えているか？

	回答数	%
常に伝えている	8	30.8
一部の人にだけ伝えている	7	26.9
以前は伝えていたが、今は伝えていない	7	26.9
以前は伝えていなかったが、今は伝えている	0	0
以前も今も伝えていない	1	3.8
無回答	3	11.5

岩手・宮城・福島からの避難では嫌な思いをしている避難者は少ない結果になりました。しかし、関東圏からの避難者は「関東からの避難」であることをなかなか言えていないことがわかります。

関東でも公的な除染がされていることなどあまり広く知られていないことから、「関東からの避難」に驚かれることも多いようです。

そのような選択があることの理解が進むことを願っています

アスチカは皆さまのサポートを必要としています。

サポートいただける方は、アスチカまでお声かけください。「たねまく広場」をご利用いただくことも有難いサポートです。お気軽に足をお運びください。

また、寄附金は以下の口座でお受けしています。

◆ゆうちょ銀行◆

【記号】15150 【番号】480341

【名称】ひろしま避難者の会 アスチカ

※ 他行からの振り込みの場合は

【店名】五一八 (読み ゴイチハチ)

【店番】518 【預金種目】普通預金

【口座番号】0048034

アスチカサポートチーム 参加者募集中！

「ひろしま避難者の会『アスチカ』や広域避難されている方々を支えることはもちろん、さらに東日本大震災・福島第一原発事故により被災地から遠く離れ避難した「広域避難者支援」の課題や情報を共有したり、意見交換、共同イベント開催などを目指します。

【お問い合わせ】

082-962-8124

asuchika-iw@outlook.jp

<担当>

アスチカサポートチーム岩木

4月の 「たねまく広場」での催し



すべての予約・参加申し込みはアスチカ事務局まで！

TEL 082-962-8124

e-mail hiroshima.hinan@gmail.com

会場はすべて **たねまく広場** です。

鍼灸治療@たねまく広場

10年のキャリアを持つ鍼灸師をしているアスチカ会員による鍼灸治療。鍼の入門版として、お気軽にご利用ください。

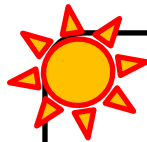
日時: 4月19日(水) 10:00~13:30

施術料: 1500円(ドリンク付) / 1コマ(施術 20分)

施術: 山村政子(山村鍼灸治療院・アスチカ会員)

【予約優先】

10時より30分1コマとしてご予約を承ります。



おしゃべり交流会

「カリンのおススメ映画」

地域交流会として「おしゃべり交流会」を開催します。今回もテーマは映画。映画が大好きなカリンさんにおススメ映画のお話をしていただきながら、映画を切り口にいろいろなことを語り合しましょう♪



日時: 4月26日(水) 11:00~13:00

参加費: 無料



お茶会サロン

～ なにしよおるん? お茶のみにおいでえや

今回から「若者活動サポートセンターあおぞら」さんの主催で開催します。広島土砂害被災者の方を応援する趣旨は変わりません。4月は「栄養士・渡辺さんの元気なお話し」。どなたでもご参加できます。これからもそれぞれの今に、心を寄せていきます。(JR西日本あんしん社会財団からの助成を受けています。)

日時: 4月22日(土) 11:00~15:00

参加費: 300円 昼食代: 500円

メニュー: 血液がサラサラになるお料理

3月 イベント報告

- 5日(日) 交流カフェ(廿日市市)を開催しました
- 18日(土) 交流カフェ(関東圏からの)を開催しました
- 26日(日) ふくしまのお話～「トホホ福島日記」のその後を開催しました
- 29日(水) それでもやっぱり子どもは森で!
ふくしま・ひろしま森のようちえんのお話し会を開催しました
- 17日(金) クッキングレッスン@たねまく広場(講師: 宮川亜由美さん)を開催しました
- 22日(水) 鍼灸治療@たねまく広場を開催しました
おしゃべり交流会を開催しました
- 25日(土) お茶会サロン(ひろしま土砂災害被災者応援ボランティア主催)を開催しました

「たねまく広場」について

Open 月・火・水・金 10:00～16:00(祝祭日は休み)
(通常) 第2・4土曜日 12:00～15:00

1. 食べ物の持ち込み自由!

※来られるお子さんの中にはアレルギーを持つお子さんがいることもあります。安全のため、お子さんへお菓子等飲食物を配られることはご遠慮ください。

2. ウォーターサーバーを設置し、セルフでご利用いただくコーヒーやお茶などご用意しています。(¥100～)

3. キッズスペースあります。 ※保護者の方の見守りが基本ですが、金曜日は見守りスタッフがおります。

4. 被災地の地方新聞など、被災地や被災者にかかわる資料を自由にご覧いただけます。

5. 大テーブルは予約利用(10時～13時・13時～16時)が可能です。

利用料: 利用人数×¥500(セルフドリンクコーナー使用料含む)

6. 大テーブルを使っのミニ教室開催が可能です。教室開催ご希望の方はご相談ください。

(ミニ教室もセルフドリンクコーナーFREE)



上段:「たねまく広場」
下段:アスチカ事務局

4月の予定

4/1現在の予定です

月	火	水	木	金	土	日
					1 休	2 休
					☆交流カフェ (別会場)	休
3	4	5	6 休	7 ★キッズ見守り	8	9 休
宮: ○相 福: ○相	宮: ○相 福: ○相	宮: ○相 福: ○相	休	宮: ○相 福: ○相	福: ○	休
10	11	12	13 休	14 ★キッズ見守り	15 休	16 休
宮: ○相 福: ○相	宮: ○相 福: ○相	宮: ○相 福: ○相	休	宮: ○相 福: ○相	休	休
17	18	19 ★鍼灸の日	20 休	21 ★キッズ見守り	22 ★お茶会サロン	23 休
宮: ○相 福: ○相	宮: ○相 福: ○相	宮: ○相 福: ○相	休	宮: ○相 福: ○相	福: ○	休
24	25	26 ★おしゃべり交流会	27 休	28 ★キッズ見守り	29 休	30 休
宮: ○相 福: ○	宮: ○相 福: ○相	宮: ○相 福: ○相	休	宮: ○相 福: ○相	休	休

★=すべての方を対象にした企画です。 ☆アスチカ会員を対象にした企画です。

・毎週金曜日は「キッズ見守りの日」。10:00～12:00、13:00～15:00の時間はスタッフがお子さんの見守りを行います。ゆっくり広場で過ごしていただくことが出来ます。

・4/19,22,26の詳細は、5ページをご覧ください。

・「宮」とは、みやぎ避難者帰郷支援センター:宮城県の県外避難者支援事業の一つです。中・四国・九州・沖縄地方に住む宮城県からの避難者を対象としています。「○」はセンターのオープン日。「相」は相談窓口の開設日です。

・「福:○」と表記のある日は福島県の県外避難者生活再建支援事業を担う拠点のオープン日です。広島・山口・島根に住む福島県からの避難者が対象です。「相」と表記のある日は対象者からの相談受付窓口の開設日です。

「たねまく広場」のフェイスブックページあります。 <https://www.facebook.com/TanemakuSq/>